11月 宇治真原

令和元年 11 月 11 日（月）
浦添市立港川小学校便り 第６号
発行　浦添市立港川小学校
　　校長　松岡　泰成
TEL　８７９－１９７４

運動会のお礼と今後の開催について

10月27日の運動会は、多くの保護者の来校があり、晴天にも恵まれ盛会のうちに終了できました。保護者の皆さんの熱い！声援と温かい拍手で子ども達も精一杯頑張ってくれました。ありがとうございます。

40周年を控え、当日 T シャツやタオルの販売や構内の見回りなど、PTA の皆さんにも大変尽力して頂きました。ご協力ありがとうございます。子ども達に大きなケガはなかったのですが、参観された方がお一人体調を崩されたため、救急車を要請しました。幸い､軽い脱水症状ということでした。大事には至らず安堵しましたが、今年、児童約960名、園児140名ですから子どもだけで約1100名。当日の来校者を考慮すると恐らく3000名を超えていたと想定されます。新しい体育館とピロティ、幼稚園のウッドデッキ,校舎周辺を解放しても収容することができません。体育館と地域連携室等の施設の一部を開放することで、食事場所など確保できる市内の小学校もありますが、本校の立地条件では、それも無理です。運動場周辺は演技の観覧場所となりますので、さらに食事場所の確保は厳しい状態です。

そこで、今後の学校行事の持ち方について考えを記します。

（案）①開始を30分繰り上げ開始を8時半、終了を12時半を目標として午前中の運動会とする。②学年演技は、走とダンス等の表現をセットにして実施する。③開閉会式は過度な演出は避けて簡素化し、その分演技の時間を確保する。④ PTA 種目や6年の親子ダンスは、時間内で出来る方法で検討し改善する。

運動会の手作りお弁当を子ども達も楽しみにしている為、とても心苦しいのですが、現状を踏まえ、安心安全に行事を行うためには上記①～④の改善案を考えています。なお、この改善案は現時点の判断であり、変更もあることをあらかじめ、ご承知おき下さい。詳細は、次年度の運動会の時期に改めて、学校便り等で説明いたします。

＜11月19日(火)授業参観のお知らせ＞

10月は運動会があったため参観日は9月以来となります。多くの保護者の皆様の来校をお待ちして。います。

学年PTA行事に関連して

先週金曜日に四学年の行事が行われました。クラス対抗・保護者も参加してのドッジビー大会でした。参加していただいた保護者の皆さん、計画から運営までありがとうございます。とても白熱して楽しい集会となっていました。

さて、今週末には、六学年も学年行事を予定されています。内容は、ネット・スマホ・ゲームの安全な使い方について、外部講師を招いての講話が行われます。

「自動車免許は、きちんと教習所に通い、講習を受け実地教習を受け仮免許で練習を積んで与えられるのに、ネットの世界はスマホをもてば簡単に入ることが出来る。これは、余りに無防備だ」という話を以前同様の講話で講師が話していました。

確かに便利で簡単、楽しいです。子どもの方が保護者よりも直ぐに操作法を覚えて、すいすいと使いこなしているように見えますが、果たして、危険性と安全な使い方やマナー等も理解しているでしょうか。テレビ新聞の報道で様々な事件を耳にする度に気になっています。

スマホを買い与えて、使用法についての指導や各家庭でルールも決めずにいると事の危険があります。ネット・スマホや SNS に関する危険性については、保護者･児童も十分把握しておくことが求められます。

今回の講話が、これからのネット社会を生きる私たちと子ども達の双方に取って、価値があることを期待しています。

おめでとう　作文で県最優秀賞受賞　結希斗さん

第六十九回全国小・中学校作文コンクール沖縄県審査における最優秀賞です。おめでとうございます。子どもらしい素朴な表現にもこわいものをなくすために、いろいろ考えた様子が伝わる作品です。先日、校内放送でも本人に読んでもらいました。その作文を掲載して紹介します。なお、漢字変換や句読点は原文のままです。

こわいものをなくすには

三年　新垣　結希斗

前までは、雨がふってもかさを持っていれば大じょうぶと思っていたけれど、あの時から、ずっと天気のことが気になっています。

あの時というのはまだ夏休みに入る前、学校から帰ろうとしたら、外で雨がふっていて雷も鳴っていました。

さいしょは「久しぶりに雷がなっているなぁ」と思いました。かさをさして歩いていると、どんどん雷の音が大きくなってきました。不安になってきたけど、何とかマンションのエレベーターにつきました。

僕の家は十三階です。エレベーターが十三階について、とびらがひらいた時です。ピカッと光った後に、空がわれるようなすごい音がしていっしゅん体が動かなくなりました。その時から、雨、台風が気になって天気よほうを毎日かくにんしています。雨マークがあると心ぱいになります。母や兄は、「だいじょうぶ、だいじょうぶ」と言うけれど、ぼくの不安はかわりありません。

一体どうすればいいのでしょうか。昔のように天気のことなんか考えずに、気楽になることはできないのでしょうか。テレビで台風のじょうほうをつたえているリポーターの人は何でへいきなんだろうと思います。平気なほかの人がうらやましいです。

雷が平気になるためにどうすればいいか考えました。

そこで、図書館で天気について書かれている本を読みました。雷のでき方、もし雷が鳴ったらじょうぶなたてものの中に入れば安全だとわかりました。

でも、頭でわかっていても心ぱいになってしまいます。ぼくがこわいのは、光と音だと思います。テレビで見たギザギザの光とゴロゴロッとしたはげしい音がとてもこわいと思います。はげしい音をふさぐために兄の耳せんをためしたけど、あまりこうかがありませんでした。サイズが合わないのかもしれないので、子ども用耳せんを買ってもらおうと思います。こうかがあったこともありますが、きな動画などを見ていると気がまぎれます。ふとんをかぶるとおちつきます。

天気はあやつれないけど、ぼくの心には、「天気が怖い集中」と「楽しくて集中」があると思うので、うまくうけいれて、たくさん学んでこわい物をなくすことが大切だと思います。ほかの人に守られて、せいちょうして、がんばって楽しみたいです。

先日、給食時間の校内放送で、全校児童に作文を紹介しました。その際は、結希斗さん本人に朗読してもらいました。

なるほど、子ども達はこんな風に感じて、そして、子どもなりに考えているんだなぁと、素朴で素直な思いが伝わってきました。

結希斗さん、おめでとうございます。